

# 治安等に関するアンケート結果 (第13回：令和2年1月実施)

- テーマ  
「治安等に関するアンケート」
- アンケートの目的  
県民の皆様の治安等に関する御意見を伺い、安全に安心して暮らせる鹿児島を創造するための警察活動に役立てるため。
- 実施時期  
令和2年1月
- 対象者数  
200人
- 回答者数  
155人(77.5%)



令和2年5月

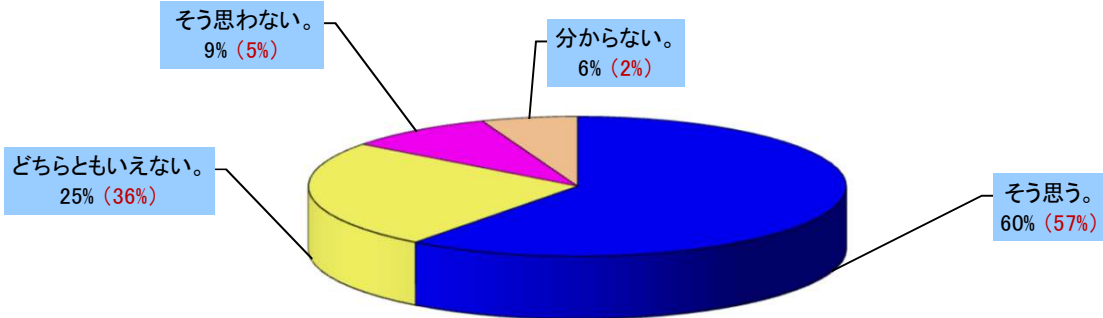
鹿児島県警察本部



# 1 鹿児島県の治安について

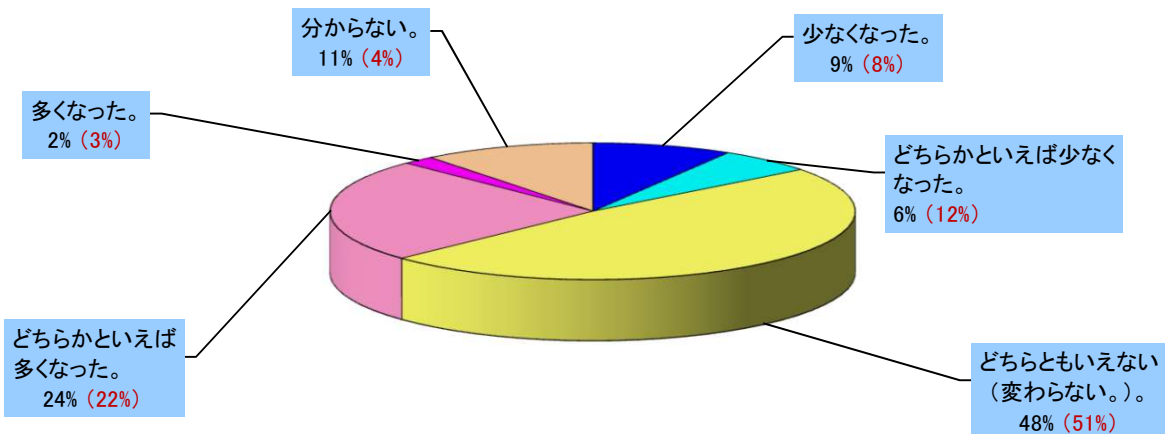
※( )は、前回アンケート結果(平成31年1月実施)

問1 あなたは、現在の鹿児島県が治安が良く、安全で安心して暮らせる県であると思いますか。



「現在の鹿児島県が治安が良く、安全で安心して暮らせる県であるか」について、「そう思う。」と回答した方は60パーセントであり、前回の調査時より3ポイント増加しており、10年連続で半数を超えた。また「どちらともいえない。」と回答した方は25パーセントであり、前回の調査時より11ポイント減少した。  
一方、「そう思わない。」と回答した方は9パーセントと前回の調査時より4ポイント増加した。

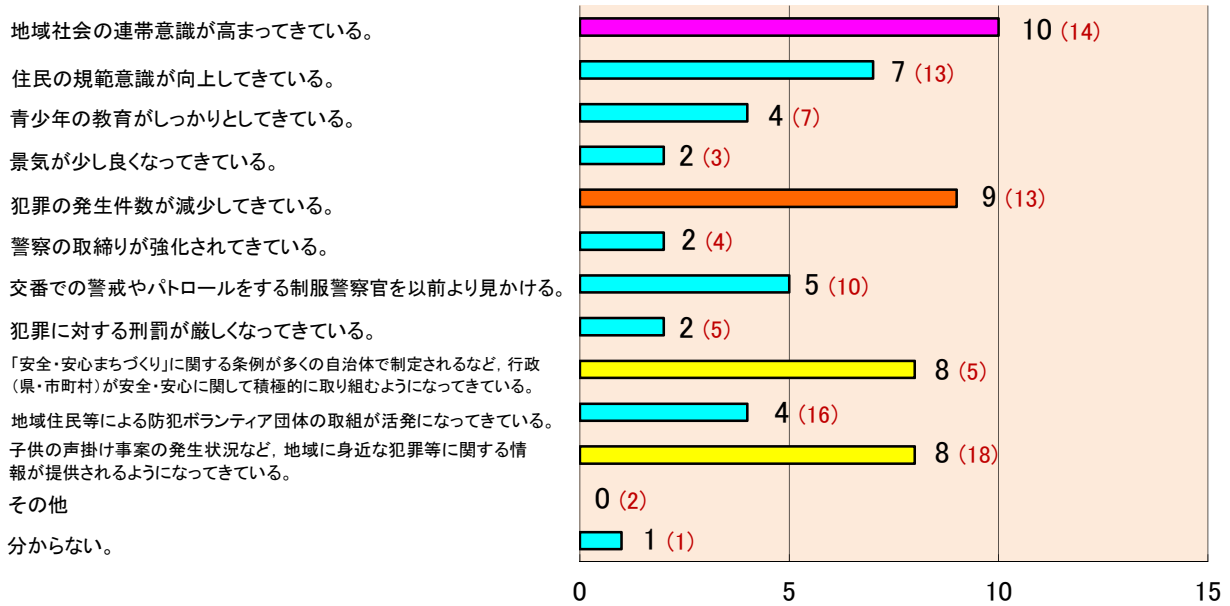
問2 あなたのお住まいの地域で、ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になることが少なくなったと思いますか、それとも多くなったと思いますか。



「あなたのお住まいの地域で、ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になること」について、「少なくなった。」又は「どちらかといえば少なくなった。」と回答した方は15パーセントであり、前回の調査時より5ポイント減少した。  
また、「多くなった。」又は「どちらかといえば多くなった。」と回答した方は26パーセントであり、前回の調査時より1ポイント増加した。

更問① 不安になることが少なくなった原因は何だと思いますか。(複数回答可)

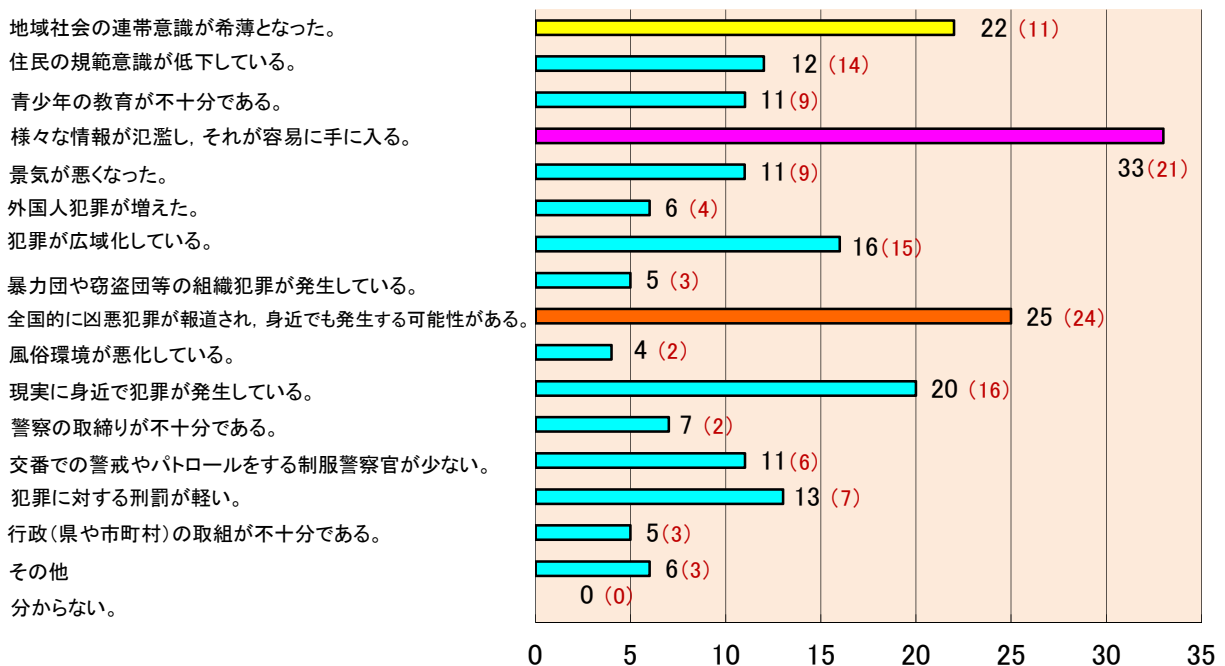
～ 問2で「少なくなった。」又は「どちらかといえば少なくなった。」と回答した方への再質問 (単位:人)



「ここ1年間で犯罪に遭うかもしれないと不安になること」について、「少なくなった。」又は「どちらかといえば少なくなった。」と回答した方に対して、その理由を質問したところ、「地域社会の連帯意識が高まってきている。」が最多で、次いで「犯罪の発生件数が減少してきている。」、「安全・安心まちづくり」に関する条例が多くの自治体で制定されるなど、行政(県・市町村)が安全・安心に関して積極的に取り組むようになってきている。」、「子供の声掛け事案の発生状況など、地域に身近な犯罪等に関する情報が提供されるようになってきている。」の順に回答が多い。

更問② 不安になることが多くなった原因は何だと思いますか。(複数回答可)

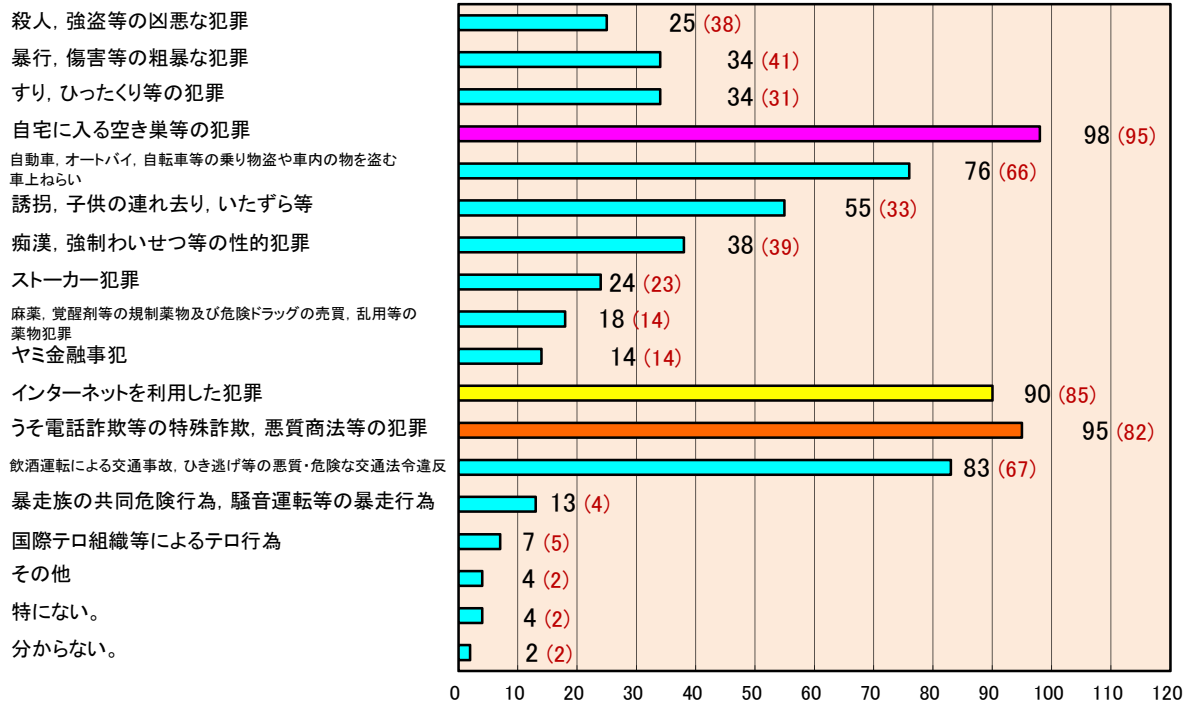
～ 問2で「どちらかといえば多くなった。」又は「多くなった。」と回答した方への再質問 (単位:人)



「ここ1年間で犯罪に遭うかもしれないと不安になること」について、「どちらかといえば多くなった。」又は「多くなった。」と回答した方に対して、その理由を質問したところ、「様々な情報が氾濫し、それが容易に手に入る。」が最多で、次いで「全国的に凶悪犯罪が報道され、身近でも発生する可能性がある。」、「地域社会の連帯意識が希薄となった。」の順に回答が多い。

問3 あなたが、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になる犯罪は何ですか。  
(複数回答可)

(単位:人)

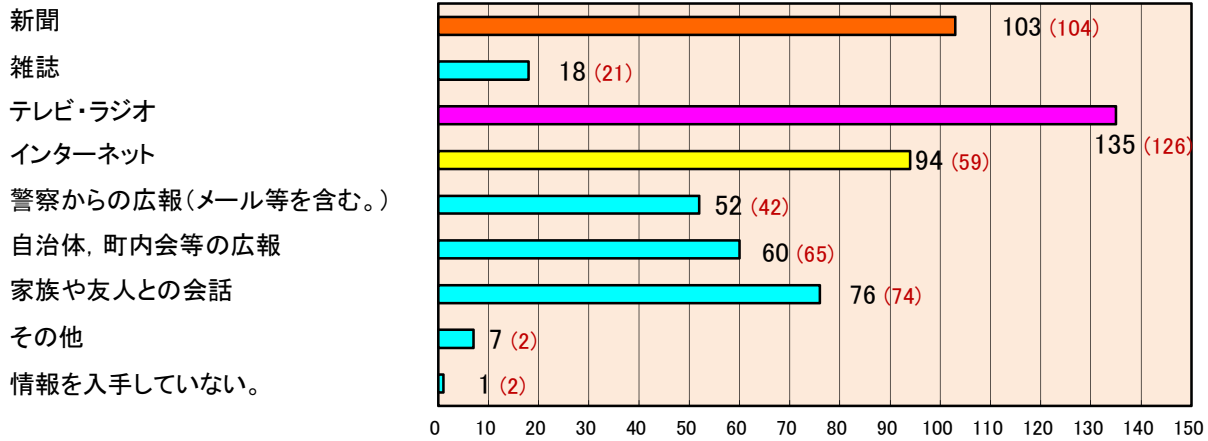


「自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になる犯罪」については、「自宅に入る空き巣等の犯罪」が最多で、次いで「うそ電話詐欺等の特殊詐欺、悪質商法等の犯罪」、「インターネットを利用した犯罪」の順に回答が多い。

## 2 治安や犯罪に関する情報について

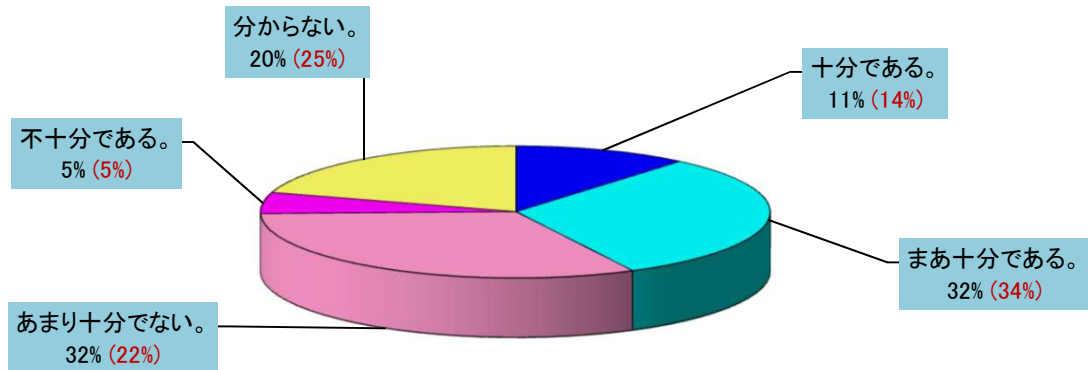
問4 あなたは、どのような方法で治安や犯罪に関する情報を入手していますか。  
(複数回答可)

(単位:人)



治安や犯罪に関する情報の入手方法については、「テレビ・ラジオ」が最多で、次いで「新聞」、「インターネット」によるの順に回答が多い。

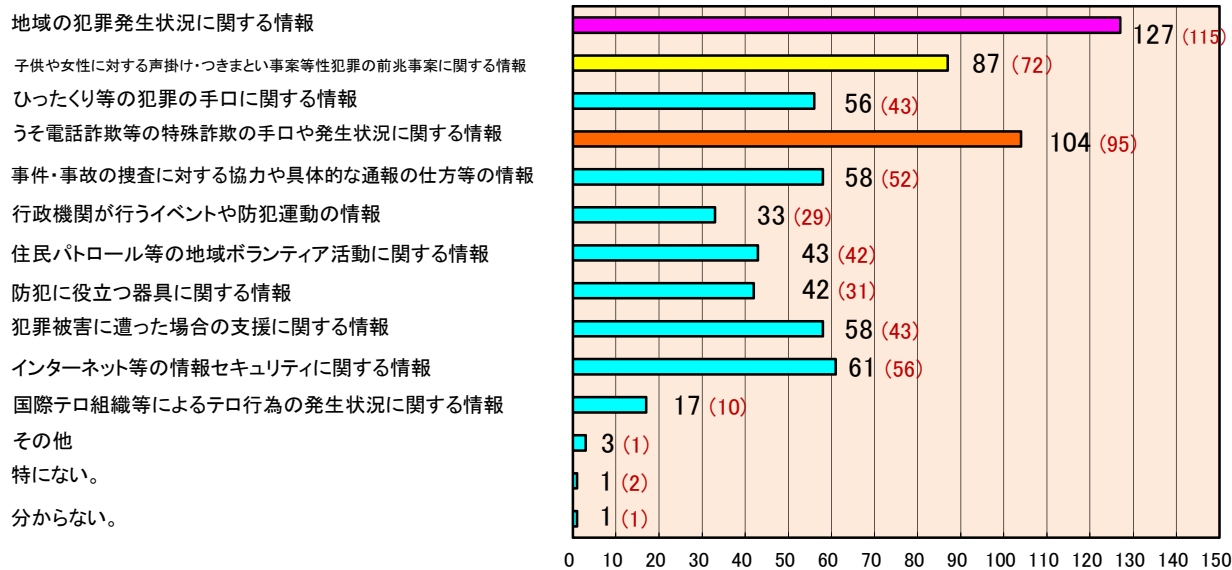
問5 あなたは、警察及び自治体からの治安や犯罪に関する情報提供は十分だと思いますか。



警察や自治体からの治安情報等の提供について、「十分である。」又は「まあ十分である。」と回答した方は43パーセントで、前回の調査時より5ポイント減少した。また「不十分である。」又は「あまり十分でない。」と回答した方は37パーセントで、前回の調査時より10ポイント増加している。

問6 あなたは、治安や犯罪に関する情報として、警察からどのようなものが提供されたら良いと思いますか。(複数回答可)

(単位:人)



警察や自治体に提供を求める情報については、「地域の犯罪発生状況に関する情報」が最多で、次いで「うそ電話詐欺等の特殊詐欺の手口や発生状況に関する情報」、「子供や女性に対する声掛け・つきまとい事案等性犯罪の前兆事案に関する情報」の順に回答が多い。

### 3 犯罪の起きにくい社会づくりについて

問7 犯罪の起きにくい社会づくりを行うために、あなたの考え方に近いものはどれですか。  
(二つまで回答可) (単位:人)

地域住民の連携で行うべきである。

県や市町村といった行政の責任で行うべきである。

警察の仕事である。

地域住民、行政、警察が一体となって行うべきである。

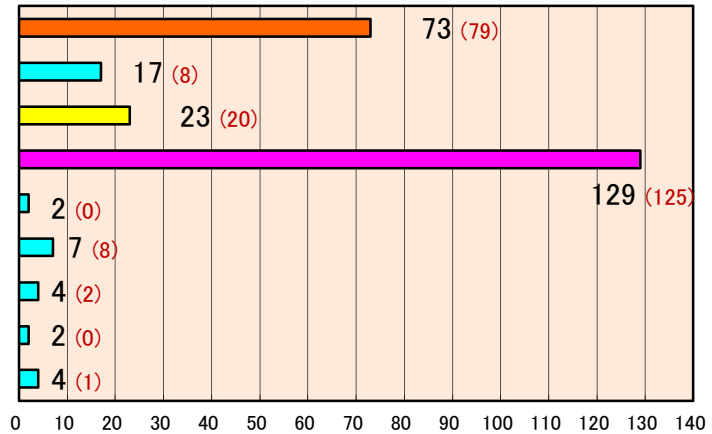
防犯活動に熱心な人に任せて行えばよい。

一人一人が注意すれば、地域で防犯活動をしなくてもよい。

その他

特にない。

分からない。



「犯罪の起きにくい社会づくりを行うための考え方」について、「地域住民、行政、警察が一体となって行うべきである。」が最多で、次いで「地域住民の連携で行うべきである。」、「警察の仕事である。」の順に回答が多い。

問8 犯罪の起きにくい社会づくりを実現するためには、どのような取組が必要であると思いますか。(二つまで回答可)

(単位:人)

街路灯を設置したり、公園の見通しを良くするなど、犯罪防止につながるような環境の整備

防犯カメラの設置

警察官によるパトロール活動

地域住民、防犯ボランティア等によるパトロール活動

警察、地域住民、自治体、学校等の相互の連携の強化

防犯教室の開催

防犯ブザーの設置、玄関や窓の鍵の取替え等、個人による防犯器具の整備

事件の発生状況等防犯に役立つタイムリーな情報提供

信号や標識等の交通安全施設の整備

社会の規範意識を高めるための取組の強化

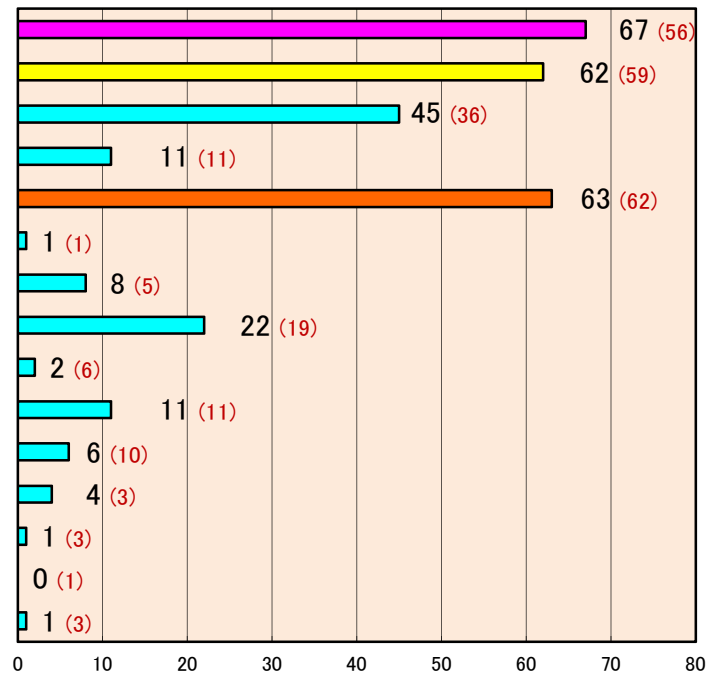
インターネット等における違法・有害情報の排除

犯罪被害者等による講演会「命の大切さを学ぶ教室」の開催

その他

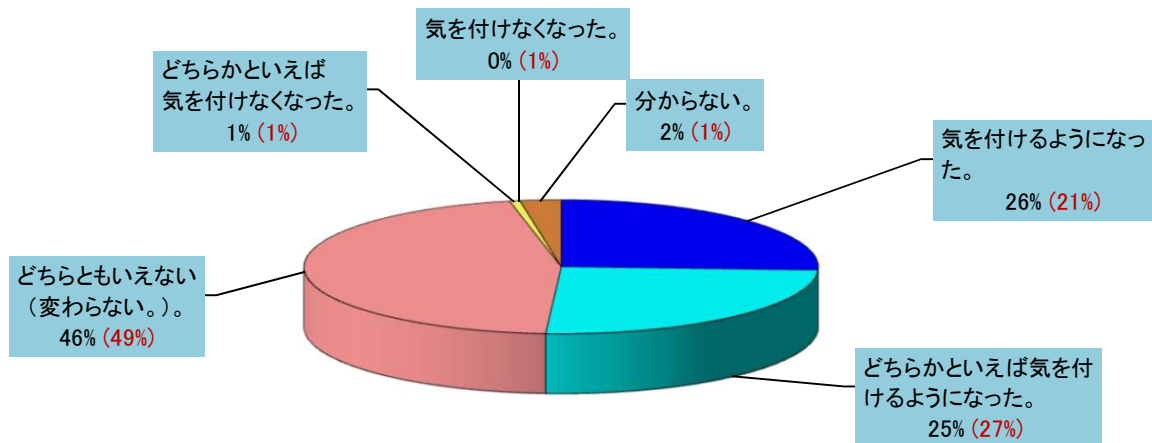
特にない。

分からない。



「犯罪の起きにくい社会づくりを実現するための取組」について、「街路灯を設置したり、公園の見通しを良くするなど、犯罪防止につながるような環境の整備」が最多で、次いで「警察、地域住民、自治体、学校等の相互の連携の強化」、「防犯カメラの設置」の順に回答が多い。

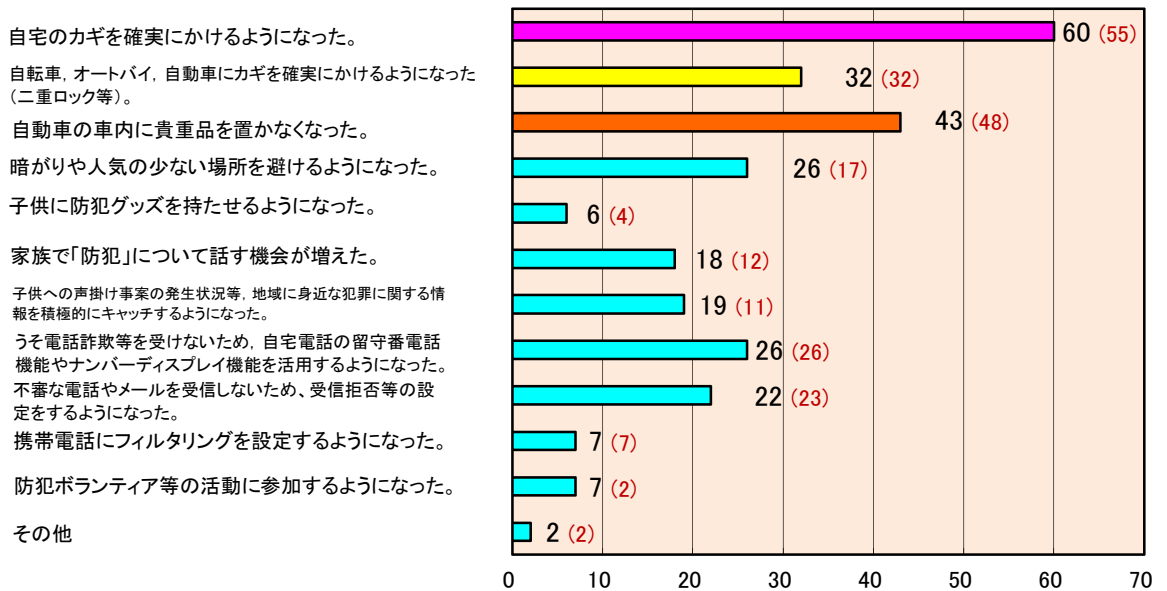
問9 あなたは、ここ1年間で「防犯」ということに気を付けるようになりましたか。



「ここ1年間で「防犯」ということに気を付けるようになったか」について、「気を付けるようになった。」又は「どちらかといえば気を付けるようになった。」と回答した方は、51パーセントであり、前回調査時より3ポイント増加し、「気を付けなくなった。」又は「どちらかといえば気を付けなくなった。」と回答した方は、1パーセントであり、前回の調査時より1ポイント減少している。

更問① どのような点に気を付けるようになりましたか。(複数回答可)

～ 問9で「気を付けるようになった。」又は「どちらかといえば気を付けるようになった。」と回答した方への再質問 (単位:人)

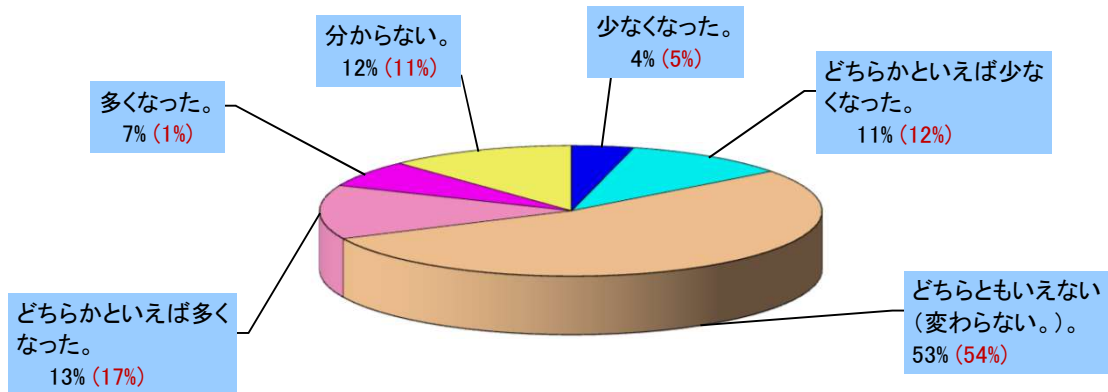


「ここ1年で「防犯」ということに気を付けるようになったか」について、「気を付けるようになった。」又は「どちらかといえば気を付けるようになった。」と回答した方に対して、どのような点について気を付けるようになったか質問したところ、「自宅のカギを確実にかけるようになった。」が最多で、次いで「自動車の車内に貴重品を置かなくなった。」、「自転車、オートバイ、自動車にカギを確実にかけるようになった(二重ロック等)。」の順に回答が多い。



## 4 子供の安全対策について

問10 ここ1年間で、あなたのお住まいの地域の子供たちが、犯罪被害に遭うかもしれないと不安になることが少なくなったと思いますか、それとも多くなったと思いますか。



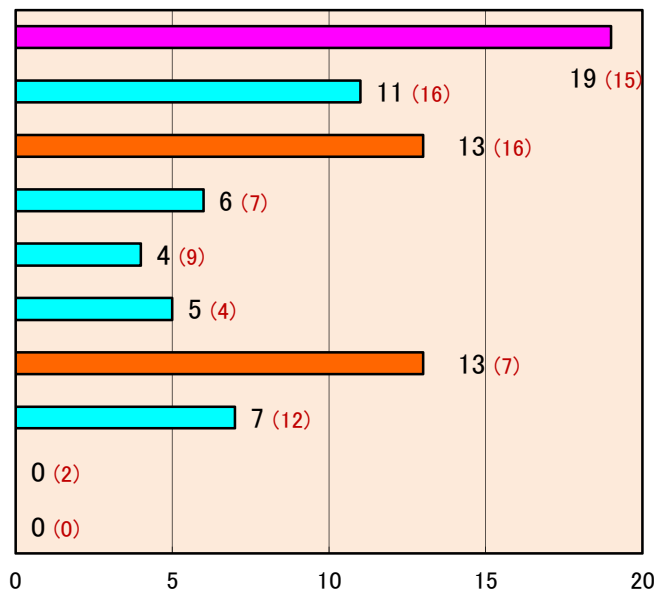
「ここ1年間で、あなたのお住まいの地域の子供たちが、犯罪被害に遭うかもしれないと不安になること」について、「少なくなった。」又は「どちらかといえば少なくなった。」と回答した方は15パーセントであり、前回の調査時より2ポイント減少し、「多くなった。」又は「どちらかといえば多くなった。」と回答した方は20パーセントであり、前回より2ポイント増加した。

更問① 少なくなった原因は何だと思いますか。(複数回答可)

～ 問10で「少なくなった。」又は「どちらかといえば少なくなった。」と回答した方への再質問

(単位:人)

- 登下校時間帯に青色防犯パトロール活動等が活発に行われている。
- 地域の子供の安全に対する意識が高まりつつある。
- 子供の安全に対する学校や自治体の取組が活発になってきている。
- 子供の登下校時間帯の、警察官や交番相談員による通学路のパトロールが強化されている。
- 学校や地域で、子供の安全対策に関する防犯教室が開かれている。
- 警察から、不審者情報等がタイムリーに提供されている。
- スクールサポーターの配置や地域安全マップの作成等子供の安全対策が進んでいる。
- 子供たち自身の安全に対する意識が高まってきている。
- その他
- 分からない。



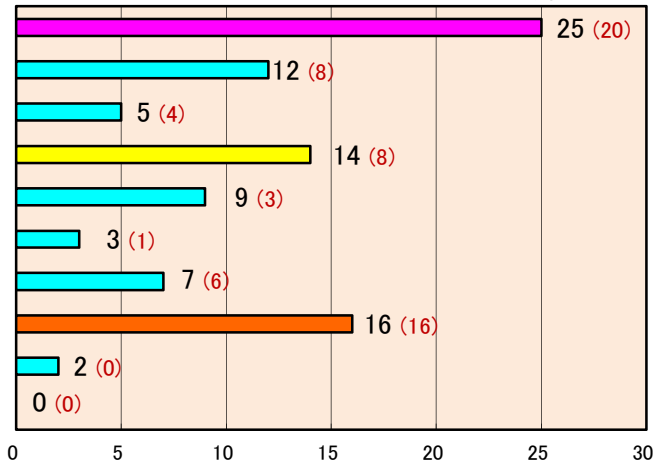
「ここ1年間で、あなたのお住まいの地域の子供たちが、犯罪被害に遭うかもしれないと不安になること」について、「少なくなった。」又は「どちらかといえば少なくなった。」と回答した方に対して、その理由を質問したところ、「登下校時間帯に青色防犯パトロール活動等が活発に行われている。」が最多で、次いで「子供の安全に対する学校や自治体の取組が活発になってきている。」、「スクールサポーターの配置や地域安全マップの作成等子供の安全対策が進んでいる。」が同順の回答となっている。

更問② 多くなった原因は何だと思えますか。(複数回答可)

～ 問10で「多くなった。」又は「どちらかといえば多くなった。」と回答した方への再質問

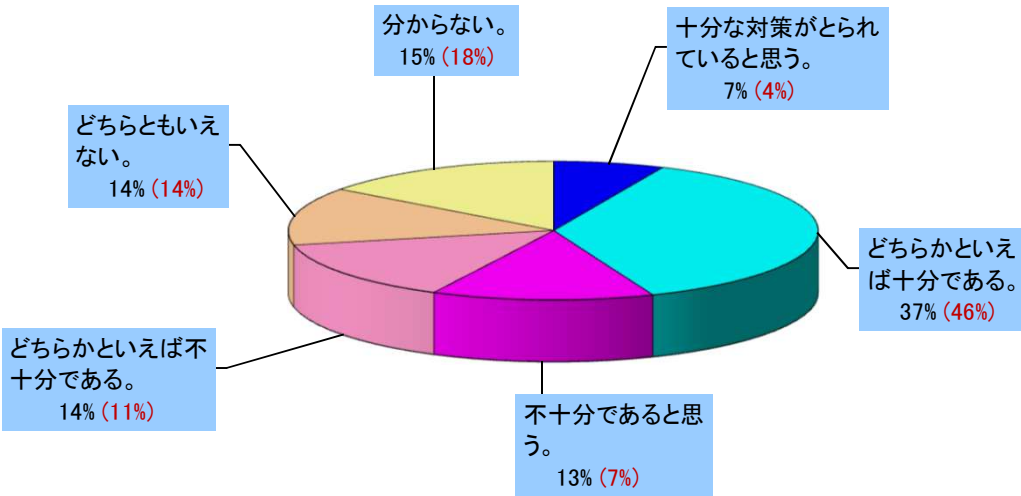
(単位:人)

- テレビや新聞で、子供が巻き込まれる事件がよく取り上げられる。
- 地域のつながりが弱く、近所の住民の顔をよく知らない。
- 子供が習い事などで遅く帰ることがある。
- 子供が一人で登下校することがある。
- 近所で子供が巻き込まれた事件・事故が発生したから。
- 学校や地域で子供の安全対策に関する防犯教室がほとんど開かれていない。
- 登下校時間帯に警察官がパトロールしている姿を見かけない。
- 子供がインターネット等を利用する機会が増えたから。
- その他
- 分からない。



「ここ1年間で、あなたのお住まいの地域の子供たちが、犯罪被害に遭うかもしれないと不安になること」について、「多くなった。」又は「どちらかといえば多くなった。」と回答した方に対して、その理由を質問したところ、「テレビや新聞で子供が巻き込まれる事件がよく取り上げられる。」が最多で、次いで「子供がインターネット等を利用する機会が増えたから。」、「子供が一人で登下校することがある。」の順に回答が多い。

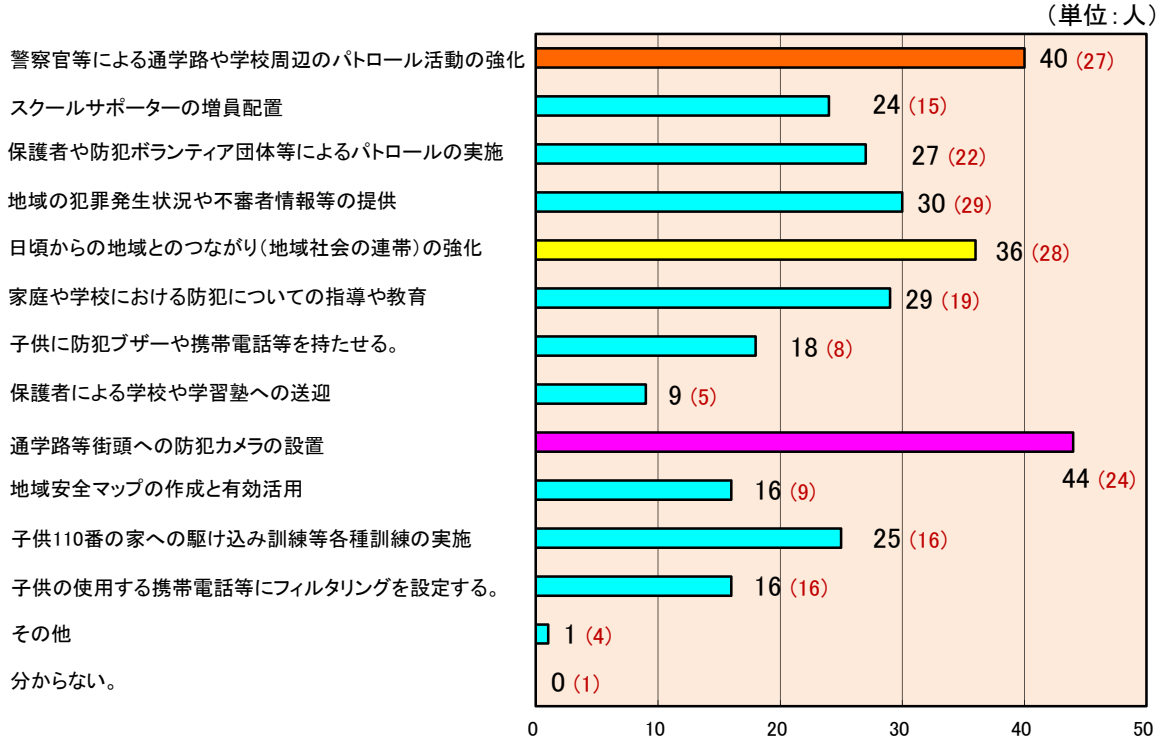
問11 あなたは、子供の安全対策についてどう思いますか。



「子供の安全対策」について、「十分な対策がとられていると思う。」又は「どちらかといえば十分である。」と回答した方が、44パーセントであり、前回の調査時よりも6ポイント減少し、「不十分である。」又は「どちらかといえば不十分である。」と回答した方は27パーセントであり、前回の調査時よりも9ポイント増加した。

更問① 子供の安全対策には何が必要だと思われますか。(複数回答可)

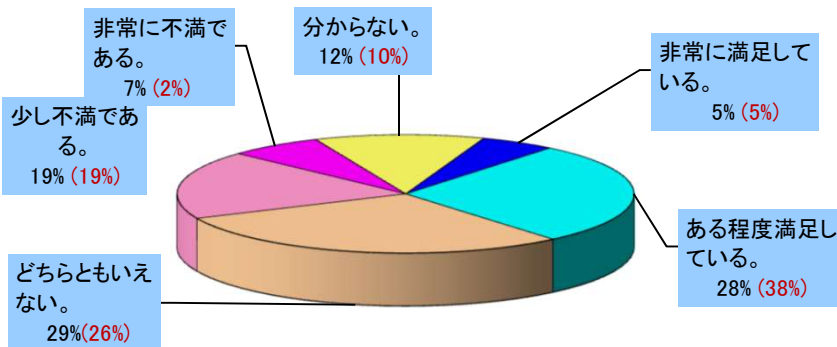
～ 問11で「不十分であると思う。」「どちらかといえば不十分である。」「どちらともいえない。」と回答した方への再質問



「子供の安全対策には何が必要か」について、多くの方が、「通学路等街頭への防犯カメラの設置」、「警察官等による通学路や学校周辺のパトロール活動の強化」、「日頃からの地域とのつながり(地域社会の連帯)の強化」が必要であると回答している。

## 5 交番・駐在所の活動について

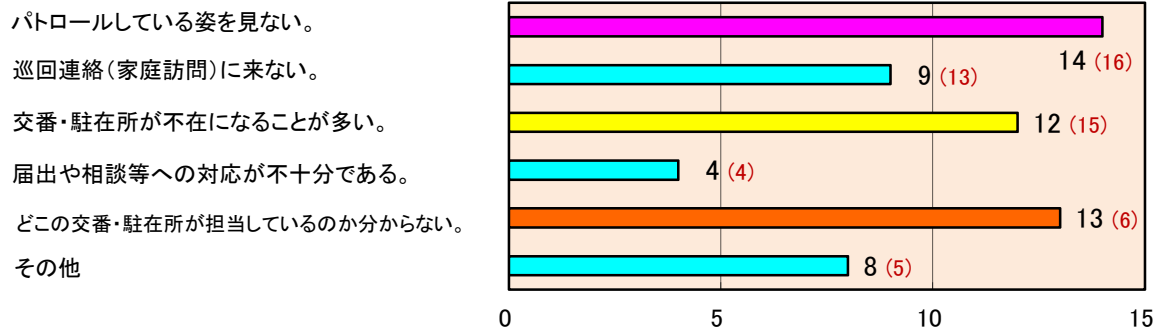
問12 あなたは、近くの交番・駐在所の警察官の活動について、満足していますか。



「近くの交番・駐在所の警察官の活動」について、「非常に満足している。」又は「ある程度満足している。」と回答した方が33パーセントで、前回の調査時より10ポイント減少し、「少し不満である。」又は「非常に不満である。」と回答した方は、26パーセントで、前回の調査時より5ポイント増加している。

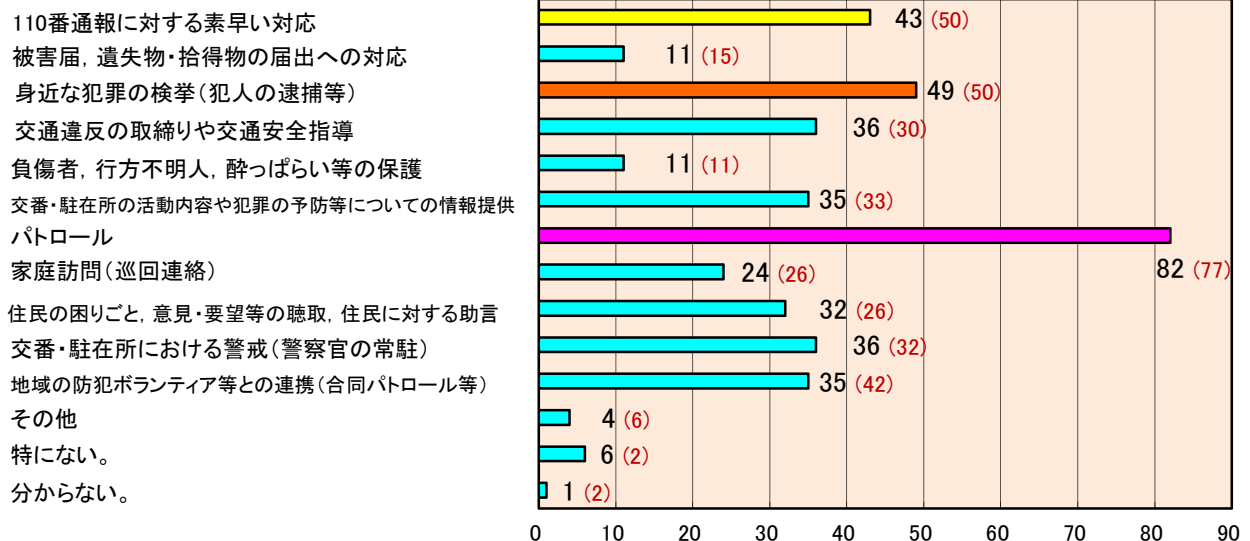
更問① 不満である理由は何ですか。(複数回答可)

～ 問12で「少し不満である」又は「非常に不満である」と回答した方への再質問 (単位:人)



「近くの交番・駐在所の警察官の活動に対して不満を感じる理由」については、「パトロールしている姿を見ない。」という回答が最多で、次いで「どこの交番・駐在所が担当しているのか分からない。」、「交番・駐在所が不在になることが多い。」の順に回答が多い。

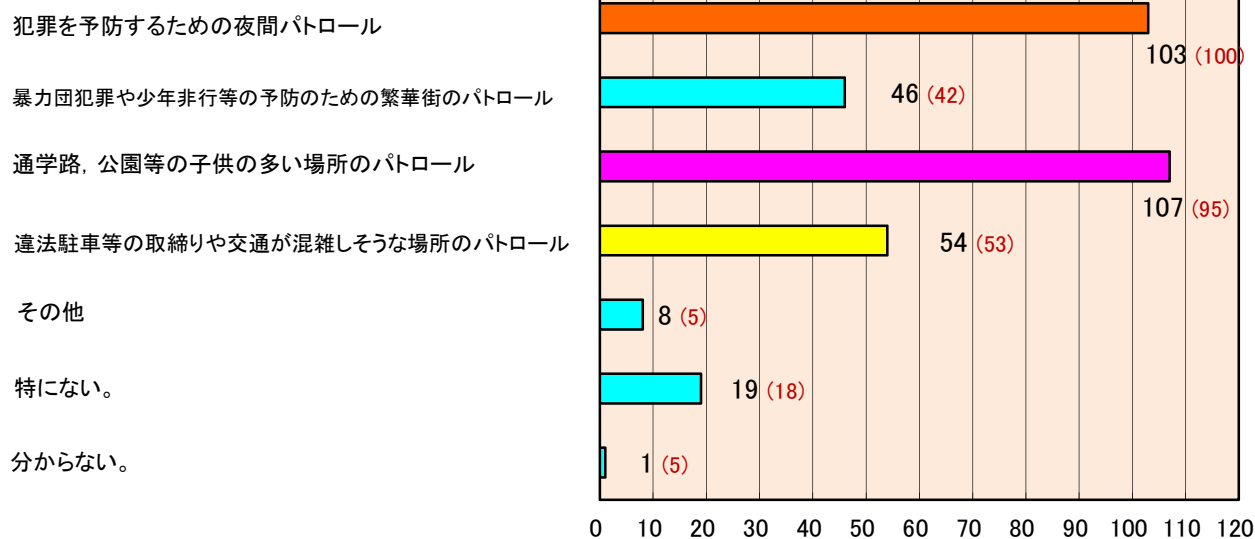
問13 あなたは、今後、交番・駐在所の警察官にどのような活動を特に強化してほしいと思いますか。(三つまで回答可) (単位:人)



「今後、交番・駐在所の警察官に特に強化してほしい活動」については「パトロール」が最多で、次いで「身近な犯罪の検挙(犯人の逮捕等)」, 「110番通報に対する素早い対応」の順に回答が多い。

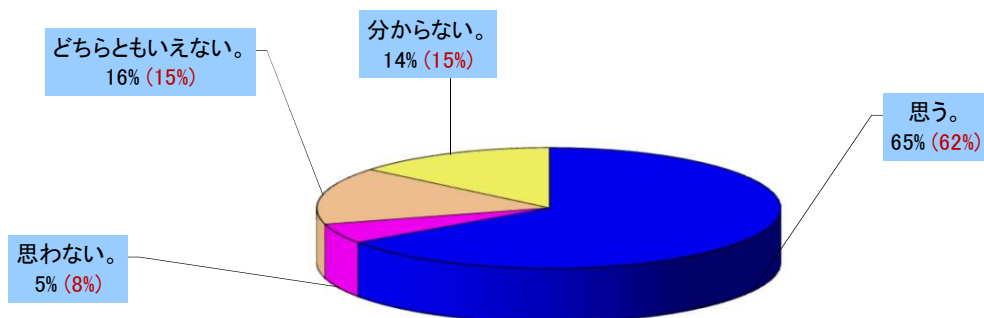
問14 あなたは、警察官がパトロールを行う際、どのような時間帯や場所を重点的に行えばよいと思いますか。(複数回答可)

(単位:人)



「警察官がパトロールを行う際の時間帯や場所」について、「通学路、公園等の子供の多い場所のパトロール」が最多で、次いで「犯罪を予防するための夜間パトロール」、「違法駐車等の取締りや交通が混雑しそうな場所のパトロール」の順に回答が多い。

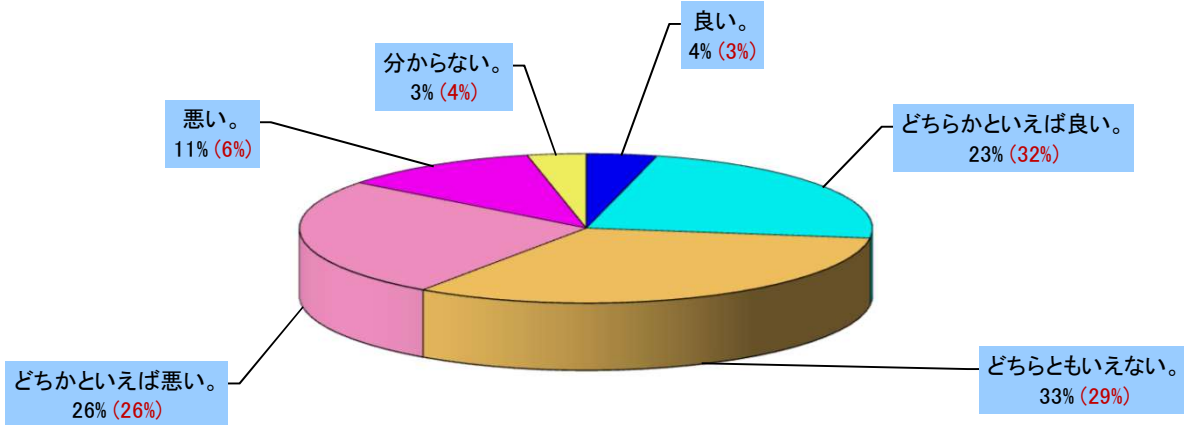
問15 警察官がパトロールなどで交番にいないときでも、交番を訪れた住民に対応することができるように交番相談員を交番に配置しています。あなたは、交番相談員が交番にいることは住民へのサービスにつながっていると思いますか。



「交番相談員の配置が住民へのサービスにつながっていると思いますか。」について、「思う。」と回答した方は、65パーセントであり、前回の調査時より3ポイント増加し、また、「思わない。」と回答した方は、5パーセントであり、前回の調査時より3パーセント減少した。

## 6 交通事故抑止対策について

問16 あなたは、鹿児島県内の交通マナーについてどのように感じていますか。

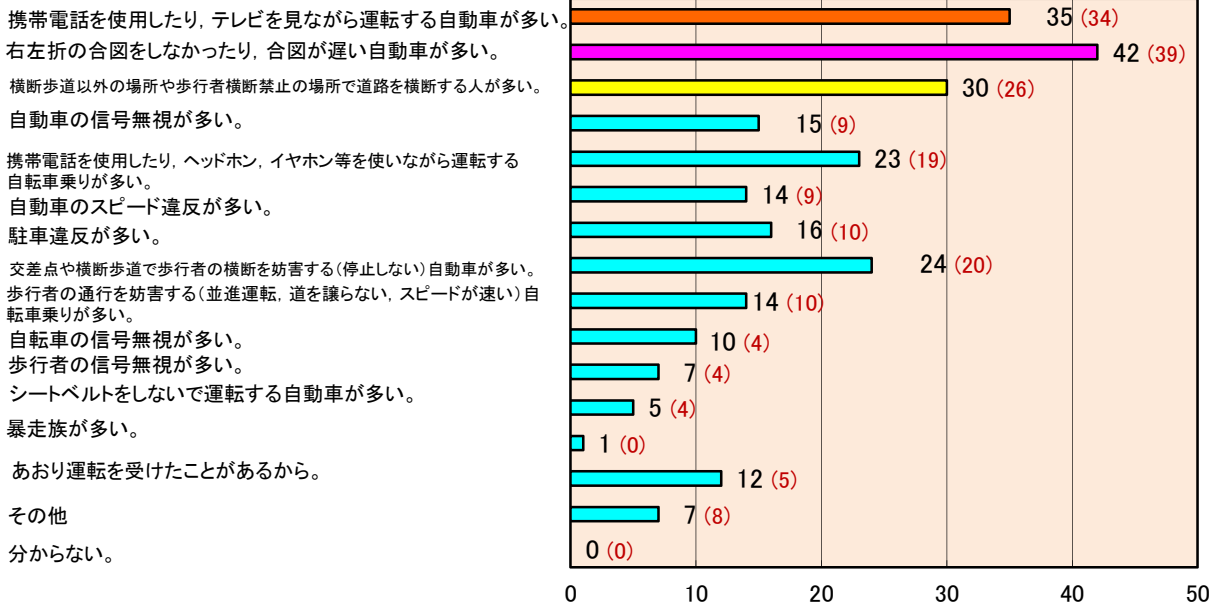


「鹿児島県内の交通マナー」について、「良い。」又は「どちらかといえば良い。」と回答した方が27パーセントであり、前回の調査時より8パーセント減少し、「悪い。」又は「どちらかといえば悪い。」と回答した方が37パーセントであり、前回の調査時より5ポイント増加している。

### 更問① そのように感じる理由は何ですか(複数回答可)

～ 問16で「どちらかといえば悪い。」又は「悪い。」と回答した方への再質問

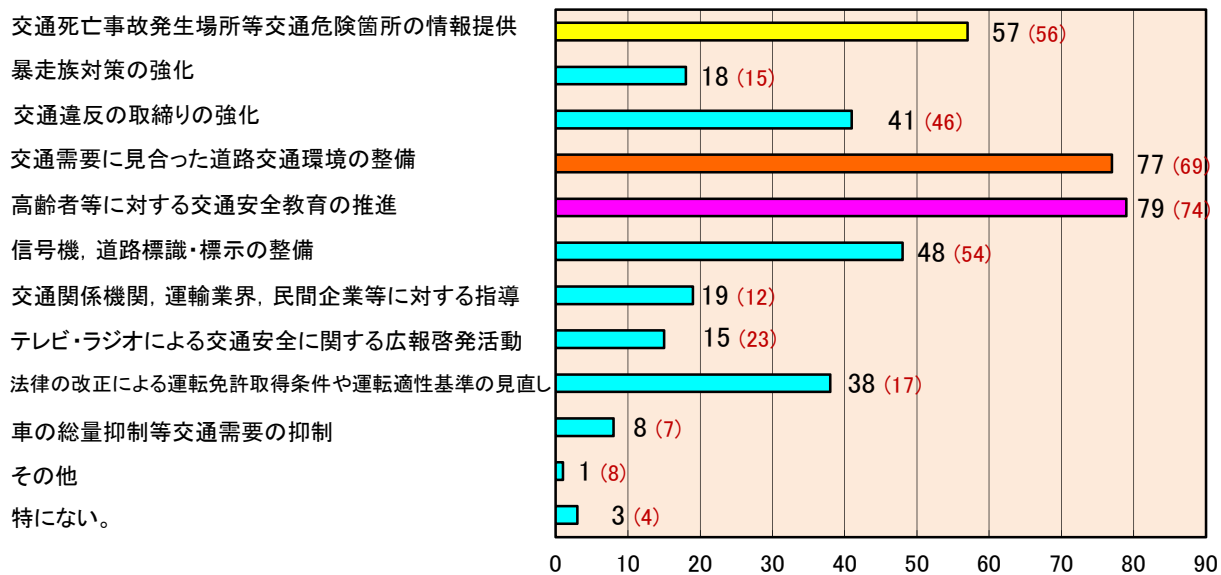
(単位:人)



「鹿児島県内の交通マナー」について、「悪い。」又は「どちらかといえば悪い。」と回答した方について、その理由を質問したところ、「右左折の合図をしなかったり、合図が遅い自動車が多い。」が最多で、次いで「携帯電話を使用したり、テレビを見ながら運転する自動車が多い。」、「横断歩道以外の場所や歩行者横断禁止の場所で横断する人が多い。」の順で回答が多い。

問17 あなたが、交通事故抑止対策として、警察に力を入れてもらいたいことは何ですか。  
(三つまで回答可)

(単位:人)

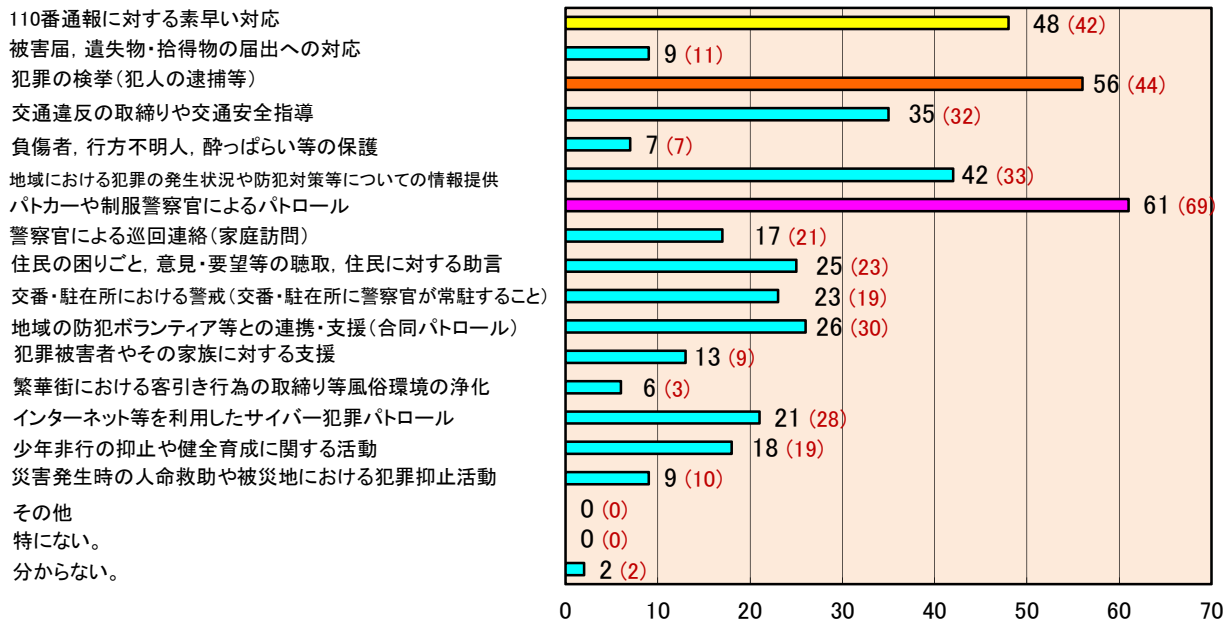


「交通事故抑止対策として、警察に力を入れてもらいたいこと」については、「高齢者等に対する交通安全教育の推進」が最も多く、次いで、「交通需要に見合った道路交通環境の整備」、「交通死亡事故発生場所等交通危険箇所の情報提供」の順に回答が多い。



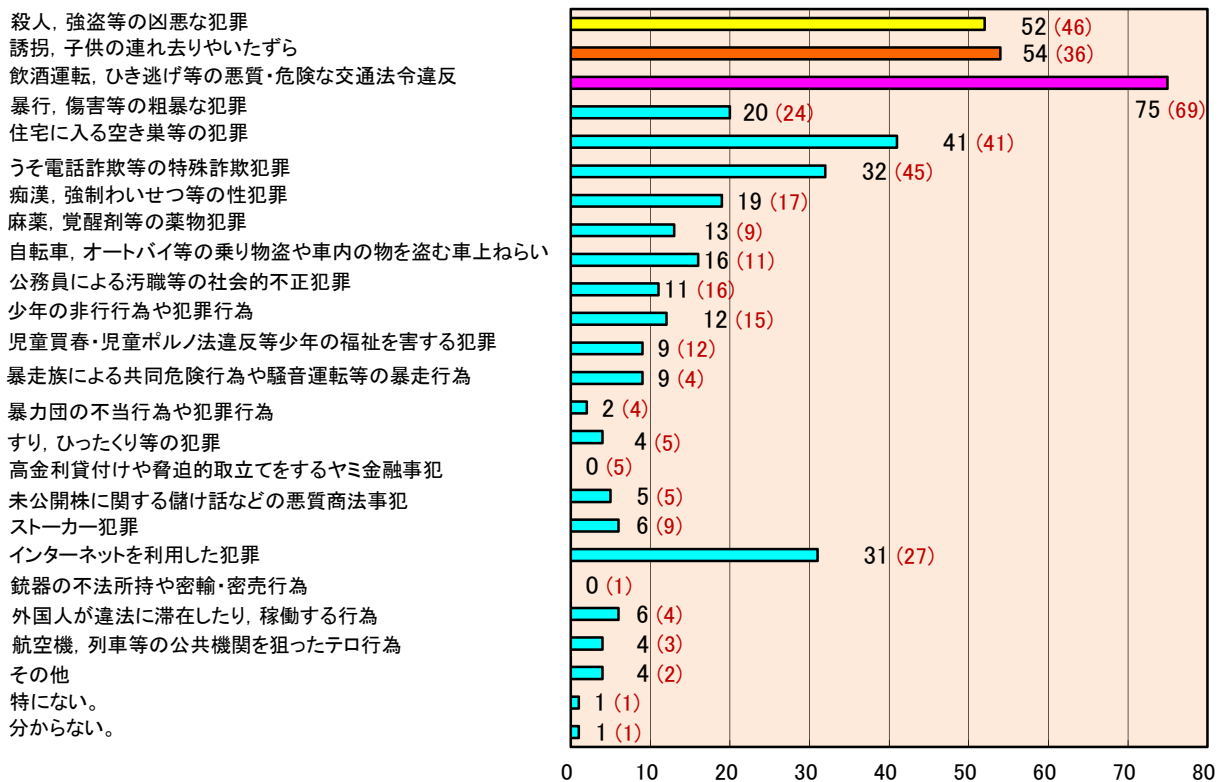
## 7 警察に対する要望について

問18 あなたは、警察に特に力を入れてほしい活動として、どのようなものを望みますか。  
(三つまで回答可) (単位:人)



「警察に特に力を入れてほしい活動として望んでいること」については、「パトカーや制服警察官によるパトロール」という回答が最も多く、次いで、「犯罪の検挙(犯人の逮捕等)」、「110番通報に対する素早い対応」の順に回答が多い。

問19 あなたが、警察に特に力を入れて取り締まってほしいと思う犯罪は何ですか。  
(三つまで回答可) (単位:人)



「警察に特に力を入れて取り締まってほしい犯罪」については、「飲酒運転、ひき逃げ等の悪質・危険な交通法令違反」が最も多く、次いで「誘拐、子供の連れ去りやいたずら」、「殺人、強盗等の凶悪な犯罪」の順に回答が多い。